

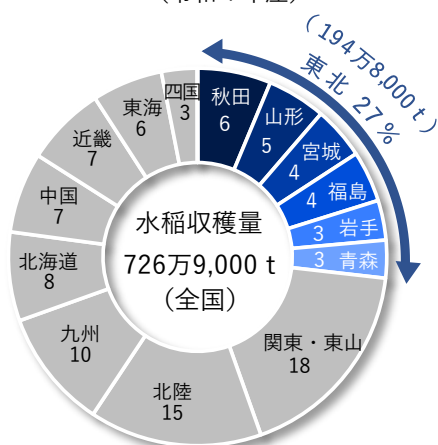
テーマは「水稻の生産量（令和4年産）」

東北は全国シェア 27%の「米の産地」

東北の令和4年産水稻の生産量（収穫量）は、194万8,000t（前年産比92%）で、農業地域別の生産量シェアでは全国1位の27%となっています（図1）。

東北6県をみると、秋田県が45万6,500t（全国シェア6%）で、新潟県、北海道に次ぐ全国3位の生産量となっており、残る5県も上位に位置しています（表）。

図1 水稻収穫量の農業地域別割合（令和4年産）



※ 沖縄は0%
構成割合は、表示単位未満をラウンドしているため、合計が100にならない。

表 水稻収穫量の全国上位都道府県（令和4年産）

順位	都道府県	収穫量 (t)	対前年産比 (%)
—	全国	7,269,000	96
1	新潟	631,000	102
2	北海道	553,200	96
3	秋田	456,500	91
4	山形	365,300	93
5	宮城	326,500	92
6	茨城	319,200	93
7	福島	317,300	94
8	栃木	270,300	90
9	千葉	259,500	93
10	岩手	247,600	92
11	青森	235,200	92
12	富山	197,400	99
13	長野	187,300	99
14	兵庫	177,000	101
15	福岡	164,000	100

※ 収穫量は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下同じ。）。

Vol.13 [令和5年1月]

「まふナビ東北」では、農林水産省が実施している統計調査結果から、「東北地域」にクローズアップした情報をお届けします。

[発行]
農林水産省 東北農政局統計部

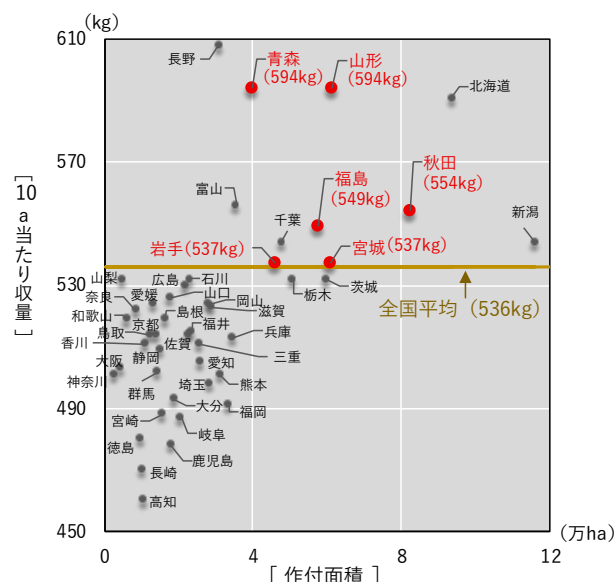
農林水産省では、農作物の収穫量等を把握するため「作物統計調査（作況調査）」を実施しています。

本号は、公表資料「令和4年産水陸稲の収穫量」の子実用（主に食用に供することを目的に生産したもの）データを元に作成しています。

全国平均より単収水準が高い東北

東北6県の10a当たり収量（単収）をみると、青森県と山形県が594kgで全国2位のほか、残る4県も全国平均（536kg）より上位に位置しています。作付面積との関係でみると、新潟県、北海道、東北などの作付面積が大きい都道府県は10a当たり収量も高い傾向にあります（図2）。

図2 水稻作付面積と10a当たり収量の分布（令和4年産、都道府県）

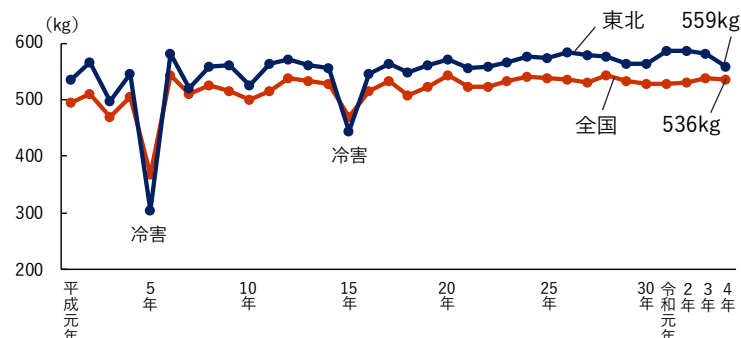


※ 作付面積は子実用、10a当たり収量は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下同じ。）。

10a当たり収量を時系列でみると、東北は平成5年と15年の冷害年は全国平均を下回っていますが、平成元年以降550kg程度の水準で推移しており、全国平均を上回っています。

なお、令和4年産については、田植え期以降の低温や日照不足、8月の大雨の影響などにより作況指数が「98」のやや不良となり、東北の10a当たり収量は近年で最も低くなりました（図3）。

図3 水稻10a当たり収量の推移（全国、東北）



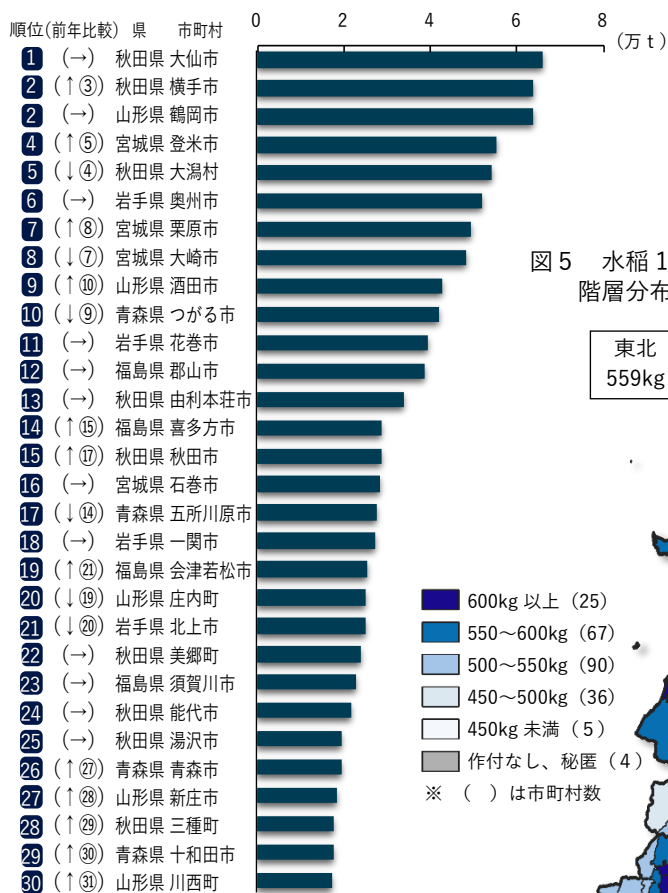


市町村では秋田県大仙市が東北 1 位の生産量

東北全 227 市町村のうち、令和 4 年産の水稲は 224 市町村で生産されており（前年同）、生産量では秋田県大仙市が東北 1 位（6 万 5,900 t、順位は前年同）となっています。

上位 30 市町村が所在する県をみると、秋田県は最も多い 9 市町村、山形県は 5 市町、青森県、岩手県、宮城県、福島県は各 4 市がランクインしています（図 4）。

図 4 水稲収穫量の市町村順位（令和 4 年産、東北）



※（前年比較）の矢印は前年順位と比較した動きを表す。順位に変動があった場合は前年の順位を併記。

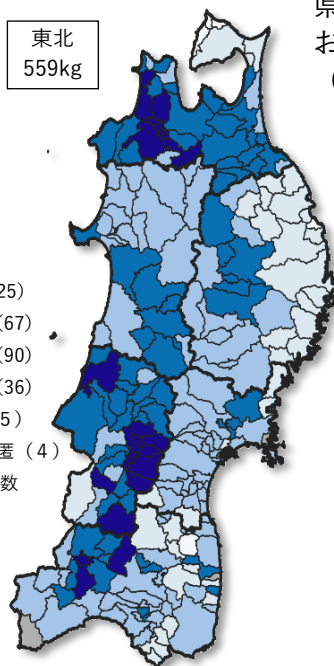


500～550kg の単収が約 4 割

各市町村の 10 a 当たり収量を階層別にみると、500～550kg の階層が 90 市町村と最も多く、東北全体の約 4 割を占めています。

また、550kg 以上の階層は 92 市町村で、青森県と山形県が 30 市町村、福島県が 16 市町村、秋田県が 7 市町、岩手県が 6 市町、宮城県が 3 市町となっており、日本海側に多く分布しています（図 5）。

図 5 水稲 10 a 当たり収量の階層分布（令和 4 年産）



■ 水稲の市町村別統計とは

「作物統計調査」を実施する上で把握した地域における標本調査、現地見積りの結果、関係機関からの情報等を踏まえ、県計値の内訳として作成した加工統計です。

東北の水稲市町村別統計の詳細は、東北農政局ホームページをご覧ください。なお、全国の水稲市町村別統計は、取りまとまり次第、農林水産省ホームページの作物統計作況調査（水陸稲）のページに掲載されます。

東北農政局ホームページ
-統計情報-
公表予定及び公表結果



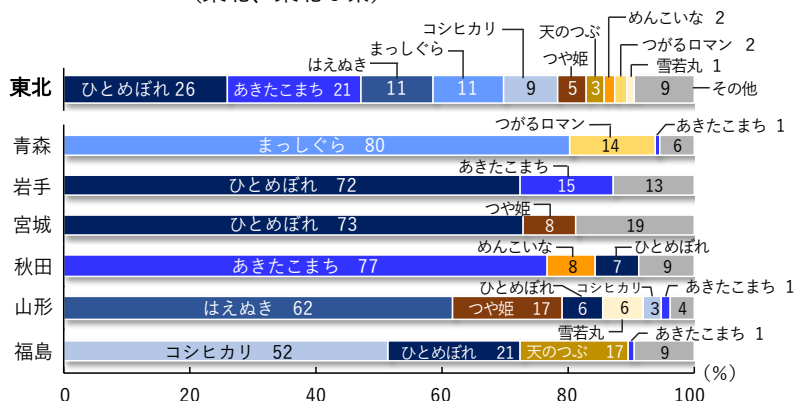
東北で生産される米の銘柄

令和 2 年産米の銘柄別検査数量（農産物検査実績）をみると、東北は「ひとめぼれ」、「あきたこまち」、「はえぬき」、「まっしぐら」の 4 品種で全体の約 7 割を占めています。

県別では、青森県は「まっしぐら」、岩手県と宮城県は「ひとめぼれ」、秋田県は「あきたこまち」、山形県は「はえぬき」、福島県は「コシヒカリ」の割合が高く、東北管内でも県ごとに主力品種が異なります。

出典：農林水産省「令和 2 年産の農産物検査結果」

◆ 令和 2 年産米の銘柄別検査数量の割合（東北、東北 6 県）



※ 構成割合は、水稲うるち玄米について、産地品種銘柄別検査数量を総検査数量で除算したものである。表示単位未満をラウンドしているため、合計が 100 にならない場合がある。

Tips 豆知識

-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

水稲の作付面積、収穫量、市町村別データ、用語解説など「作物統計作況調査（水陸稲）」の詳しい情報（公表資料）はこちらからご覧いただけます。

農林水産省ホームページ https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/

